

遠野長寿だより



思い出の一枚 ～長寿の森吉祥園 節分行事～ より



社会福祉法人とおの松寿会

○ URL ・ <https://t-chouju.jp>

○ E-mail ・ [hjmutyo@t-chouju.jp](mailto:hjimutyo@t-chouju.jp)

社会福祉法人とおの松寿会 経営の基本理念

地域の高齢者が、安全で快適な生活が送れるよう事業目的に沿って以下を実現し、地域と共に自らも永続発展していく。

- 1 地域の一員として、地域に貢献する。
- 2 地域に開かれ、地域に信頼される。
- 3 利用者が尊厳を持ってその人らしい自立した生活が送れるよう支援する。
- 4 常に利用者の立場に立ち創意工夫して行動する。
- 5 対人援助業務を通じ、人間として成長する場を創ると共に、安定した雇用を創出する。

ミッションステートメント(職員の心構え)

私たちは、思いやりを持って、創造性豊かに行動することにより、深い満足感を覚える。

- 1 私たちは、案じる気持ちを持って行動します。
- 1 私たちは、清潔を大切にします。
- 1 私たちは、創意・工夫をモットーに自己研鑽に努めます。

○特別養護老人ホーム遠野長寿の郷
○老人短期入所施設遠野長寿の郷
○老人デイサービスセンター長寿園
○生活支援ハウス長寿園
○居宅介護サポートセンター長寿園

〒028-0541 岩手県遠野市松崎町白岩18-7
TEL 0198-63-1770 FAX 0198-63-1815
TEL 0198-63-1816 (デイサービスセンター長寿園)
TEL 0198-66-3211 (居宅介護サポートセンター長寿園)

○養護老人ホーム長寿の森吉祥園
○デイサービスセンター長寿の森踊鹿
○ヘルパーステーション長寿の森

〒028-0501 岩手県遠野市青笹町糠前9-7-67
TEL 0198-62-2028 (吉祥園) FAX 0198-62-0759
TEL 0198-62-0755 (踊鹿)

○小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵
○グループホーム長寿庵

〒028-0521 岩手県遠野市材木町2-22
TEL 0198-63-1328 FAX 0198-63-1338



とおの松寿会キャラクター
「まっとちゃん」

新年度に向けての抱負

社会福祉法人とおの松寿会

理事長 松田 功

法人統括施設長

兼 長寿の森拠点 施設長

菊池 浩之

皆さん、こんにちは。ここ3年程、国、或いは自治体の新型コロナ対応はお粗末と言わざるを得ません。ウイルスの専門学者、或いは、分子病理学等の先生方から正しいレクチャーを得て対応すればいいものを、コロナワクチンメーカーの意向に沿った対策を進めています。様々な利権が絡んでいる事は分かるが、全世界の人類をモルモットの治験するのは行きすぎではないかと憤りを覚えます。更にメディアは煽りすぎて国民は萎縮し、経済はガタガタになりました。このように新型コロナ禍で社会は大混乱をしています。

一方、高齢者介護サービスの経営は、年々収支差額が少なくなり、安穩としておれない状況があります。そこで、組織の中に「経営改革室」を作り、経営の合理化を進めたいと思っています。私が施設巡回時に思う事は、現場サイドにおいて、運営についての改革意識が乏しいと見受けられます。そこで、経営者側から指示する事が必要でないかと思い、経営改革室を設置しました。経営改革室では、今まで漫然と進めていた「ケアに無駄はないか?」「改革するところはないか?」「改革するには何が問題か」「その問題をどうすれば改革できるか」等、次々に追及し、コスト削減が出来ればと思っています。

このような改革をするには優秀な人材が必要と思うのですが、私は誰でも意識改革をすれば可能だと思っています。

先日、日本電産の永守重信の「成し遂げる力」を読みましたが、創業時に4人で立ち上げた工場は、47年経ち、現在、300を超える会社を有し、売り上げは1兆6千億円、従業員は11万人だそうです。

永守さんの経営方針は「やる気を持った人材」を育成して、現場サイドに配属し、無駄を排除する事で会社の規模を大きくしたそうです。どんな優秀な企業でも安穩としておれば経営不振になります。従って、職員を徹底して意識改革をしたそうです。優秀な人が居なければ出来ない」と一般的に思いますが、何も優秀でなくても「意識改革」の優れた人を育てれば確実に改革できるそうです。

基本的に人は、そんなに能力差はあると思えません。ノーベル賞や医師等のような特別な能力を持つ方は別として、人はほぼ同じような能力だと言えらるのではないかと、要は「やる気」だと自分は思っています。

ところで、最近「X」なる言葉が巷で語られる事が多くなってきました。私もまだ理解不足ですが、これはデジタル情報を基に分析し、経営に反映させる事なようです。皆さんは「DX」と言う言葉に聞き覚えはございますか。これは、グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップルの頭文字をとったものです。彼らは、デジタル情報を分析しながら経営を行っています。アマゾンは創業25年で40兆円の売り上げをしています。要するにデジタル情報を駆使した企業が勝ち組になっている事実があります。

介護の世界も、個々の利用者の日々の行動をデータベース化して、事前にケアが出来れば、飛び回ってケアしなくても余裕をもって出来ると思います。

法人の中核となる遠野長寿の郷は、創業20周年を迎えています。今後「経営改革室」を中核として経営改革を進め、安定した老人ホームにしていきたいと思っています。

日頃より当事業所の運営にご理解とご支援を頂き、感謝申し上げます。また、地域において新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者の皆様並びにご家族様、そして地域の方々におかれましては、外出やご家族との面会、ボランティア等の地域交流の場面で制限をお願いしており、ご不便をおかけしております。地域の状況が落ち着くまで、皆様のご理解のもと引き続き感染予防に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。

さて、養護老人ホーム長寿の森吉祥園の入所定員は50人で、そのうち要介護認定を受けている方は、30人程で、比較的自立した方が多かった養護老人ホームでも、年々、重度化傾向にあります。養護老人ホームは、基本的に現在の環境での生活が難しく、経済的にも課題がある65歳以上の高齢者や独居の方、虐待を受けている高齢者、身体的な障害をお持ちの方等、市町村長の措置決定により入所になります。当施設には、遠野市だけでなく沿岸市町村より入所されている方もいらっしゃいます。岩手県内に養護老人ホームは、17か所ありますが、今後、新規に開設され、事業所数が増える傾向はありません。しかし、近年の地域経済の状況や高齢化に伴う心身状況の変化により支援・介護が必要な方の増加、そして、家族の多様化等により、養護老人ホームが受け入れ先としての役割が失われていくものではなく、家族や親類、地域のサポートを充分に受けられず経済的な課題や、複合的な生活上の問題を抱える高齢者にとって必要な施設であります。

長寿の森は、養護老人ホームのほか併設

してデイサービスセンターとヘルパーステーションを運営しております。養護老人ホームより当法人が市からの譲渡により運営開始しておりますが、建物は、平成2年に建てられたもので、32年が経過しており設備等の老朽化への対応が喫緊の課題となっております。居室の環境等も感染症対策の視点からみても改善が必要と考えています。余裕のない厳しい運営状況である中で、利用者の暮らしを守り、支援しながら対応していかなければと運営面で頭を悩ませている日々です。

ただ、そんな中でも、利用者の日常の会話や活動の様子を見てみると、歩行器や車いすを使用している方でも元気に過ごしており、もっと外出したいという要望が出されるなど意欲的な方も少なくありません。なんとか利用されている方の思いを叶えてあげたいと職員一同で取り組んでいるところです。利用者の笑顔や会話は、私どもに力を与えてくれます。私どもの意識は支援する側に立ちがちですが、日々の支援の場面から利用者に教えていただけることは、いくつもあり、職員の方が利用者の方々に支えられていることに気づくことも多いです。利用者の声を聴く、楽しみを見つける。地域の中での役割を果たしていくことが今年度も取り組んでいく私どものテーマとなります。コロナウイルスへの対応という理由であらゆるものに制限するだけでなく、職員で工夫をしながら、皆様のご協力もお願いし、取り組んでまいりますので引き続き今年度もよろしく申し上げます。

長寿の郷拠点 施設長 兼 長寿庵拠点 施設長

遠藤 利則

遠野長寿の郷開設20周年にあたり

社会福祉法人とおの松寿会
理事長 松田 功

平素は、遠野長寿の郷、デイ長寿園、居宅介護サポートセンター長寿園、長寿庵の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年には長寿の郷拠点各事業所の事業開始から20年となります。20数年前、旧遠野市が運営する特養ホーム清松園の老朽化による閉園の話を受けて、市内の事業主の有志が集まり、自分たちの手で特養ホームをやって行こうと社会福祉法人を立ち上げました。そして開設されたのが、この遠野長寿の郷です。

清松園が閉園となる日、それまで暮らしていた50名の利用者を新しい施設に移動させての開所。時を置かず在宅や病院、老健といった場所で施設の開所を待っていた方々を迎え入れ、直ぐに定員の100名が暮らす施設となりました。当時の職員には経験者が少なく、相当の苦労があったと思います。

この20年の中で大きな出来事と言えば、東日本大震災です。あの混乱の中、被災地区の施設や在宅の高齢者の受入れ、支援物資の保管と受け渡し、他県から被災施設へ向かう応援職員の一時宿泊など、できる限りのことを協力してきました。その経験から、昨年老健とおの郷と災害時協力協定を結び、災害時の避難や物資の援助などをスピーディーに行えるようになりました。常に災害に備えることを忘れず、利用者の皆さんと職員の安全を守って参ります。

また、長寿庵拠点も今年5月で15周年を迎えます。1階の小規模多機能型居宅介護事業所は、県内で初めて事業認可を受けた4つの事業所の一つで、デイサービス、ショートステイ、ホームヘルパーの3つの機能

を兼ね備えています。いつも通っている施設の職員が自宅に様子を見に来てくれ、必要な時に施設に泊まることもできる。そんな便利なサービスは、従来の介護サービスでは対応しきれない人たちにとって支えとなっています。

ただ残念なことに、介護の担い手不足は当法人にも影響を及ぼし、2階に併設されているグループホームは、令和2年3月より休止せざるを得ない状況が続いております。入居されていた利用者の皆様には、令和3年度中に遠野長寿の郷に入所して頂きましたが、グループホームにも多くの利用申し込みを頂いているだけに残念でなりません。今後も職員確保に努め、再開できるように努力して参ります。

最後に、新型コロナウイルスは未だ収束の兆しが見えません。職員の中にも陽性や濃厚接触者が出てきました。自宅待機や療養の措置を取っていますが、職員不足に追い打ちを掛けることになり、職員の負担が大きくなっています。また、行事の縮小、外出や面会の自粛など、利用者の皆さんの楽しみもずっと制限している状況です。少しでも早く穏やかな日常に戻って欲しいと願うばかりです。

長寿の郷、長寿庵各拠点共に、気持ちを新たに努めてまいります。どうぞ、今年度もよろしくお願い致します。

令和4年3月で、遠野長寿の郷が開設20周年を迎えました。そこで、松田功理事長より、20年を振り返りながら、開設当時の出来事等を、複数号にわたり、皆さんに紹介したいと思います。

『遠野長寿の郷 開設20周年にあたり①』

平成13年3月、とおの松寿会が設立され、翌年の平成14年3月にこの遠野長寿の郷が完成、スタートして20年が経ちました。

歴史としてはまだまだ浅い施設ですが、これまで様々な出来事がありました。それを超えるここまで来る事が出来たのは、皆さんの協力のおかげだと思っています。大変感謝致します。

思い起こせば20数年前、社会福祉基礎構造改革により、戦後から長きに渡って続いてきた社会福祉制度が大きく変わりました。その一つが、多様な事業主体の参入促進で、社会福祉法人以外の民間企業などが福祉サービスを提供できるようになったことです。私たち高齢者介護の分野では、介護保険制度がスタートし、ホームヘルプサービスやデイサービスなどに民間企業が参入するようになった他、現在では入所系の事業にまでその幅は広がっています。

皆さんご存じの通り、私は理事長の他に、民間企業の事業主と他の法人の役員も兼ねていますが、事業主は絶えず危機意識を持って経営に当たっています。ですから、当時、私をはじめその後法人設立に関わるようになった方々は、考え方は同じでそれぞれの事業が増々厳しい状況に置かれると認識していました。

そんな中でも遠野に新たな雇用の場を創り、若者を定着させ、地域を活性化させたいと考えていました。この思いは、法人理念の5番目に「対人援助業務を通じ、人間として成長する場を創ると共に、安定した雇用を創出する」という言葉で表されています。

②へつづく



遠野長寿の郷 竣工式及び披露パーティーの様子

特別養護老人ホーム 遠野長寿の郷

菖蒲町

ゲーム大会では、皆さん楽しそうに輪投げをしたり、スカットボール、的投げをしました。応援団も加わり、大いに盛り上がりました。おやつ作りでは、オムレットを作り、手で豪快に召し上がる方もいたり、「美味しい。」と笑顔が見られ、とても好評でした。

ゲーム大会

負けないぞ！

おやつ作り

美味しいね



山吹町

山吹町では、2月にクレープ作りを行いました。「あんこが美味しいね。」と皆さん喜んで召し上がっていました。

3月には施設のホールに飾られたお雛様や、吊るし雛と一緒に写真を撮りました。「立派なお雛様だね。」と話されていました。

柑子町

柑子町では2月に節分行事を行いました。職員が鬼役を行い、利用者様に豆まきをして頂きました。皆さん喜んでいました。

3月の行事では風船バレーを行いました。「それっ！」と元気に声掛けをしながら楽しまれていました。



紺町

2月はバレンタインにあわせて、チョコレートフォンデュを作りました。果物を切ったり、チョコをかけたり楽しめました。「甘くておいしい」と喜んで皆さん食べていました。

3月はひな祭り。紺町に飾っているひな人形の前で撮影会を行いました。

茅町 ショートステイ



2月は豆まきではなく、玉入れをしました。

ゴールには鬼のイラストを付けて、そこをめがけて皆さん玉を投げていました。落花生のつかみ取りゲームも真剣な様子でした。



ひな人形と記念写真♪
交流ホールは、
とても華やかでした。

3月は、ひな祭り。お内裏様の塗り絵をしました。



老人デイサービスセンター 長寿園

2～3月のイベント

- ・節分豆まき
- ・ゲーム・運動
- ・おやつ作り
- ・お雛様行事
- ・脳トレ
- ・DVD鑑賞
- ・カラオケ
- ・作品作り



・2月は節分行事として豆まきを行い、豆の替わりにお手玉で職員扮する鬼を退治しました。さらに棒を倒さないように慎重にお手玉を取っていくゲームを行いました。どこを取れば棒を倒さないで済むか考えるため難しく、利用者様だけでなく職員も一緒に盛り上げて楽しめました！

・3月はピンポン玉を使うゲームを行ったり、お雛様と一緒に写真を撮りました。おやつ作りでは、いちご大福やウイナードッグを作りました。特にいちご大福は大好評でした！3月下旬は休業となりましたが、営業再開後はカラオケを楽しんだり、3月いっぱい異動になる職員へ感謝の気持ちを込めて花束を贈呈しました。

養護老人ホーム 長寿の森吉祥園

2月3日 【節分、豆まき】

2月27日 【ひな祭り茶会】



元気な号令で、
豆まきスタート！



大入り袋、ゲットしました^^



みんなで『鬼はそと、福はうち！』
の大合唱!!



まんじゅうの生地を型に入れて。
中の餡が出ないように押し付けて☆



ひなまんじゅう完成。
お花が咲いたようです🌸



出来上がったひなまんじゅうは、
抹茶をお共にいただきました^^

デイサービスセンター 長寿の森踊鹿

2月3日

デイ踊鹿 節分行事



鬼は～外！！福は～内！！

今年の干支は『寅年』！！
今年の年男・年女の利用者様3名が代表して祓
(かみしも)を着ての鬼退治を行ないました★
これで鬼退治は終了…と思いきや！デイサービ
スにも鬼が出現！！利用者様一丸となって豆ま
きです(´ー`)ノ
鬼も退治でき、ほっと一安心。今年も鬼を払い、
病気も払い、元気な年になりますように…！！

地域密着型サービス拠点 長寿庵

2月・3月の長寿庵の様子

2月・3月の長寿庵では季節の行事を楽しみました。
2月3日には節分の豆まきを行いました。例年であれば鬼に扮した職員に豆を投げるのですが、今年は利用者様にお面を選んでもらい、鬼役をして頂きましたが、いざ、豆をまく番になると、職員に向かってこれでもかと豆を投げていました。

また、3月3日の桃の節句には雛人形やつるし雛を飾りました。その後、「お雛様とお内裏様」のように写真の撮影会を行いました。皆さんとても良い笑顔でした。



2月・3月の状況

○寄贈

スマイルランチ松崎 様
 ココア・緑茶 様
 菊池恵理子 様
 タオル類 様
 岩間鈴江 様
 介護用品 様

心より感謝いたします

とおの松寿会 ホームページのご案内

ホームページでは、とおの松寿会各施設内の活動の様子や、お知らせ、求人情報などをご覧いただけます。

○ URL <https://t-chouju.jp>



令和4年4月1日付 採用職員紹介

令和4年4月1日付けで、3人の職員が採用となっていますので紹介します。



・氏名 氏家 もえか
 (うじいえ もえか)
 ・趣味や特技 ゲーム
 ・一言コメント 利用者さんの名前を早く覚え、積極的にコミュニケーションをとっていききたいです。早く仕事を覚えていきたいです。



・氏名 佐々木 久美子
 (ささき くみこ)
 ・趣味や特技 ドライブ
 ・一言コメント 出会った人すべてに感謝。今日という日に感謝。感謝の気持ちを持って行動していきたいです。



・氏名 和野 麻莉
 (わの まり)
 ・趣味や特技 特にないです
 ・一言コメント 早く慣れるように頑張りたいです。よろしくお願いします。

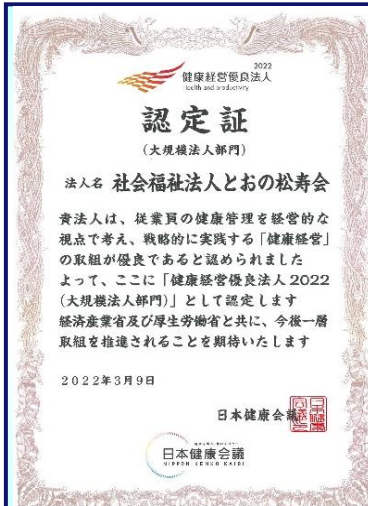
健康経営優良法人に 認定されました

この度、社会福祉法人とおの松寿会は、健康経営優良法人2022として認定されました。健康経営とは、企業が従業員の健康に配慮することで、経営面においても大きな成果が期待できるという考えのもと、従業員の健康管理を経営的視点から考え戦略的に実施することを行います。アクサ生命保険株式会社様よりサポートをもらいながら、健康経営に向けた取り組みを行ってきた結果、今回認定を受けることが出来ました。



アクサ生命保険様より認定書が進呈されました。

松田功理事長(左)と
 アクサ生命保険 様(右)



★目次★

長寿だより 117号

○表紙

「思い出の1枚
 長寿の森 節分行事 より」

・ 1

○特集コーナー

「新年度のご挨拶」
 「遠野長寿の郷
 開設20周年にあたり」

・ 2、3

○遠野長寿の郷

「2、3月の様子」

・ 4

○茅町(シヨートステイ)

「2、3月の様子」

・ 5上

○デイサービス長寿園

「2、3月の様子」

・ 5下

○長寿の森

長寿の森古祥園「活動紹介」

・ 6上

デイサービス踊鹿「活動紹介」

・ 6下

○長寿庵

「2月、3月の様子」

・ 7

○その他

「2月、3月の状況」

・ 8上右

「ホームページのご案内」

・ 8上左

「4月1日付採用職員紹介」

・ 8中上

「お知らせ」

・ 8中下